

川島通信

Kawashima Tsushin

Vol. **22**
March 2013

特集

米沢体験レポート



印刷技術の過去・現在・未来
印刷の歴史

レポ!おきたま
第36回上杉雪灯籠まつり

そばや曲屋なでら



お店の前でパチリッ。

米沢体

米沢には伝統の技や食文化が南原でそば打ちとラジウム卵

南原そば打ち体験

2月上旬、小雪の舞う中、米沢市笹野本町にお店を構える「そばや曲屋 なでら」さんでそば打ち体験をしてきました。自家栽培で自慢のそばの実を、石臼挽きによる自家製粉のそば粉を使用するので風味豊かな美味しい“二・八そば”を楽しむことができます。



1

こね鉢に、そば粉と水を入れまぜる。

きれいに
手も洗ってから…

こね鉢



2

両手でこね鉢についた粉をまとめながらこねていく。

楽しそう
を〜♪



3

ひとつにまとめながらしっとり感が出るまでとにかくこねる。これがなかなか難しい…



ギュッギュッ

のし棒



丸めたそば種

4

押しながら回転させて均等に広げる



6

のばしたら一面に広げ、全体に打ち粉をふる。



のし板

5

打ち粉をまぶし、のし棒でのばす。

わくわく
わくわく



のし棒



7

たたむたびに打ち粉をつけて再びたたむ…この繰り返し



パラパラ…

8

何度かたたんだ状態がこれ→



うまそう
ぽ〜♪

験レポ一ト

ありますが、それを体験することができます。
 で有名な小野川温泉で体験してきました。



そばの花



こま板

9 

こま板に包丁を当て
 上から下へ押し切る。
 目安は1.5mm位！



10

完成です!!
 あとは
 ゆでるだけ~♪



ゆであがったそばを前に…



自分で打った
 ふぞろいな太さのそばは、
 また格別な味わいでした 



なでらさんのオススメ

かいもち

納豆&ネギ

こま

ふわっとした食感と
 そばの風味が絶品でした!!

小野川温泉源泉で 「ラジウム卵」作り

お次は小野川温泉へ移動！中心街に位置する
 お店「岩瀬商店」の目の前でできるお手軽な体
 験です。



源泉を利用して、おいし
 いラジウム卵作るぞー!!



卵をかごに入れて
 待つこと14分… 



出来上がり★

塩をかけても
 おいしかったよ~

ラジウム成分を含んだ
 温泉卵は
 格別な味です！
 ぜひご賞味あれ!!

みなさんぜひ体験してみてください！
 今回、この取材に快くご協力いただきました
 皆さまに感謝いたします。ありがとうございました。

そばや曲屋なでら

〒992-1445 米沢市笹野本町211
 TEL0238-38-4636 11:00~15:00 火曜定休
 料金/1打(3~4人前)3,800円 要予約

岩瀬商店(受付窓口)

〒992-0076 米沢市小野川町2491
 TEL0238-32-2701 8:15~21:00 隔週水曜定休
 料金/生卵代(時価)+源泉使用料(1個につき20円)

(担当：植野、菊地、梅津、須藤)

印刷の歴史

第1回
印刷の発明



今号より新たな連載企画としてスタートします「印刷の歴史」。前号まで「印刷の部屋」というタイトルで印刷に関する知識や弊社の取り組みについてお伝えしてまい

りました。今回からは、印刷そのものの歴史を弊社の歴史と重ねあわせながら、わかりやすく解説していきたいと思えます。

1. 印刷っていつから始まったの？

印刷の歴史は古く、2世紀頃に中国で紙が発明されました。740年の頃には中国で本格的な木版印刷が始まり^{※1}、それから約700年後の1445年にドイツのグーテンベルグが鉛合金活字、活版印刷機を発明しました。その後活版印刷技術はヨーロッパ全土に広がり、火薬、羅針盤と共にルネッサンスの三大発明と言われています。そして産業革命により印刷技術は飛躍的な発展を遂げ、活版印刷以外の印刷方法が次々と発明され今日に至っています。



木版によって印刷された経本（松林寺所蔵）

※1 現存する印刷物で年代が確定している最古のものは法隆寺に保管され多数現存する日本の『百万塔陀羅尼（ひやくまんとうだらに）』（8世紀）だそうです。

2. 活版印刷時代

木版から始まった印刷技術は、やがて活版の時代を迎えます。活版技術は改良を加えながら、5世紀にわたって印刷の中心となりました。

活版印刷とは、原稿を元に活字を組んで紙にインクを転写する印刷技術です。和文の場合は文字の種類が大量に存在するため、必要な活字を用意して（文選）、版全

体を作り上げていきます。印刷寸法に応じて活字を適切に配置するには、高度な訓練が必要でした。



グーテンベルグが世界で初めて印刷した「42行聖書」（ラテン語）



その後誤植がないか確認するため校正刷り（ゲラ刷りとも）と呼ばれる試し刷りを行い、間違いがなければ印刷機に取り付けて印刷します。印刷後はインクを落とし、活字をバラバラにして片づけます^{※2}。現在のデジタル化された状況からすれば大変な時間と労力が必要でした。

※2 このように繰り返し文字を使うことから、活きた字＝活字と呼ばれる様になったそうです。



名刺用に組まれた活字



文選の様子（昭和43年頃）



弊社正面に建立された活字供養之碑

弊社でもこの活版印刷が永い間活躍してまいりましたが、徐々に世の中の流れに合わせて平版印刷という新たな印刷技術へと移行しました。それまで使っていた活字を処分する際、活字をコンクリートで固めた後一括埋蔵し、供養塔を事務所前に建立してお世話になった活字に感謝の念を捧げました。



今も弊社の行く末を見守っています

次回予告

タイプ・写植の時代

（参考：Wikipedia）（担当：神保、神田、植野）

レポ！おきたま

Report OKITAMA

第36回上杉雪灯籠まつり

2013.2.9 (Sat.)・10 (Sun.)



100円で作った
キャンドル

今年の雪灯籠まつりは、2日間とも天気に恵まれました。夜にかけて幻想的な灯りにみな足を止め、見入っていました。

今回は、午前中のイベントから夕方の点灯された雪灯籠まつりに行ってきました。



ナント！伊達政宗様が3人！?



9日に出席した各武将陣の皆さま



大人気！
アズマンジャーの雪像



もの煮込みうどん



社で2基製作した雪灯籠
日中も夜もキレイです♪



元気のいい★遊びあべり中



おでなし中のけーじー
かねたん・おせんちゃん



超レア！雪がきてる
かねたんを発見！



夜のキャンドル★
色とりどりでキレイ♪



厳かに揺れる灯りが幻想的



かわいっ

(担当：菊地、梅津、植野)

第2回 川島印刷オープンハウスを開催しました！

1月23日に第2回「川島印刷オープンハウス」を開催しました。

今回のオープンハウスでは、内容を2部に分け、前半は「WEBが引き出す“紙”媒体の有効性と使い方」と「紙×WEBでもっと効率的な販促活動」というテーマでセミナーを行いました。

後半は印刷物が出来るまでの流れを実際に工場をご覧いただきながら、各工程を説明させていただきました。

工場見学では「印刷物ができるまで」というテーマでまず制作室で制作工程の説明から始まり、POD（オンデマンド印刷機）の説明後、実際に印刷するところまで見学して頂きました。次に刷版工程の説明後、3班に分かれて印刷工程及び製本工程を見学して頂き閉会となりました。

昨年に続き2回目となる開催でしたが、前回よりも内容を工夫し、全社員で改善したことで、より良いオープンハウスが開催できたと実感しています。これからもこのような機会を継続的にを行い、お客様に少しでもお役に立てるよう、努めてまいります。ご参加いただいた皆様には、改めて感謝を申し上げます。



講師：株式会社インテリナショナル 河島 弘司氏



講師：(株)川島印刷 渡部 成年



講師：(株)川島印刷 渡邊 広樹



PODの説明



CTPの説明



スピカ印刷機の説明

金子淳一さん、長年お疲れ様でした。感謝！

このたび、長年に亘り営業部部长として、その後営業部顧問として、部の運営やお客様と弊社のパイプ役としてご尽力頂いた、金子淳一さんが2月28日付をもちまして退職されましたので、ご本人よりのコメントをご紹介します。



金子 淳一さん

このたび、60歳を迎え、定年退職することになりました。

昭和55年の入社以来、32年の歳月が流れました。当時のことを振り返りますと、印刷業界では活版、タイプ、写植、製版など時代とともに今は失くなった作業工程等がまだありました。そんな時代が大きく変わったのはパソコンが登場し、DTPやインターネットが普及してからだったと思います。

32年間営業職をしていたので、社会としっかり繋がりがながら様々な分野の方と仕事を通し貴重な経験をすることができました。これまで温かく接していただいたお客様、しっかりサポートしていただいた仲間に感謝を申し上げます。長い間ありがとうございました。

(担当：渡邊)

健康 プチ豆知識

色の力で体調管理



ようやく3月に入り、寒さの中にも春の気配を感じる季節になりました。服装も段々カラフルになっていきます。その日身につけたいと思う色は体調や気分を教えてくれる場合があります。体調が悪い時は脳を刺激する眩しい色（黄・白）を嫌がり、体調を整える緑を好む傾向があるようです。色によって体調に与える影響は様々ありますが、今回はその一例をご紹介します。（中間色をメインにしてみました）

緑 精神を安定させる色

緑は見るのが楽で疲れにくい色です。緑には精神を安定させる働きがあります。落ち着きたい時、緊張している時に取り入れてみましょう。



橙 自信を高める色

オレンジは自信を高める効果があります。積極的な行動を取りたいとき、取り入れてみましょう。肌のトラブルにも効果があります。



紫 体の回復機能を高めてくれる色

紫は体の回復機能を高めてくれる色です。心や体の疲れを癒してくれます。また不眠症を改善する働きがあります。



などなど…色はとても奥深いものです。皆さんもぜひ、参考にして下さいね。

（参考：色の不思議・色が心身に与える影響 <http://slot-r.com/step100/step36.htm>）（担当：神田）

編集 後記

もうすぐ春ですね♪昨年に続き今年も大雪で、朝晩の除雪で冬の疲れが溜まっている事でしょう。3月ともなれば、あまり雪の降る確率が少なくなりますが、その分花粉が飛び始めます。今年は花粉に加え、中国の大気汚染も凄く気になりそうです。春は陽気な気分になりますが、花粉と大気には十分注意したいものです。（須藤）

編集委員：渡邊広樹、神保滋宗、神田敏三、植野浩二、菊地美香、須藤直人、梅津泰之

発行：株式会社 川島印刷 〒992-0021 山形県米沢市大字花沢 221-2 TEL0238-21-5511・FAX0238-21-5514
HP → <http://kawa-prt.com/> ブログ更新中! → <http://kawayumedayori.blog.shinobi.jp/>